

半田市議会議員の 市政あれこれ

こいで

よしかず

発行日平成 28 年 1 月 10 日

事務所〒475-0828 半田市瑞穂町 5-3-18 ☎0569-58-0967
 連絡所〒475-0078 半田市新池町 2-201-22 ☎0569-29-0616

34



MR Jの試験飛行で半田市の航空宇宙産業にも期待が



丙申の新春を迎えて
 明けましておめでとうございま
 す。昨年はおかげで3期目の当選を
 させて頂き、皆様の負託に応えるへ
 く活動に取り組んでいます。

2016年は、丙申(ひのえね)の
 歳です。丙申には、努力が実を結ぶ
 年になるこの意味があるそうです。
 これまでの活動を土台に、成果を出
 せるように努めてまいります。

昨今の課題は多様化しています。
 大きな視野と柔軟な対応力が求め
 られていると考えます。迎合せず独
 善にならないよう、耳を傾けること
 を心掛けてまいります。ご指導ご鞭
 撻ご応援を宜しく願います。

人口維持の 目標として 2060年に10万人を...

人口が減少すれば
 様々な弊害が...

半田市の人口は、45年後に8
 万4千人まで減少すると予測され
 ています。人口が減少すれば、税
 収も減少します。公共施設の更新
 や道路補修が困難になるなど、
 様々な弊害が懸念されます。福祉
 や教育の予算削減も必至です。

人口減少対策は、今から取り組
 むべき重要課題です。半田市は、
 「まち・ひと・しごと創生総合戦
 略」を作成し、2060年に10
 万人の目標を掲げました。

確かな対策とすべく、検証して
 まいります。

企業誘致で若い男性
 の転入は増えたが...

航空宇宙産業などの企業誘致
 は、若年男性の転入に繋がって
 います。しかし実態を分析してみ
 ると、30才代男性の比率が随分高
 く、人口減少しつつ世帯数の増加
 が続いています。男性中心の職場
 が多く、家庭を持ち子どもを育て
 るまでに、至っていない世帯が多
 いのが実情のようです。

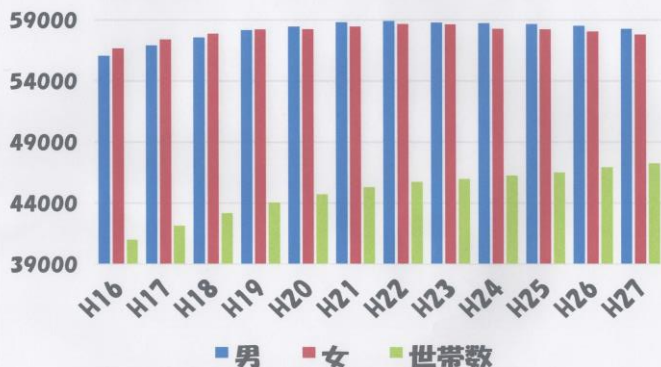
女性の雇用促進が必要

要因の一つ、多くの雇用が創出さ
 れてはいますが、女性が働ける職場が
 少ないことがあります。

男性中心の職場の誘致だけでは、人
 口減少に歯止めをかける事は出来ま
 せん。半田市で働く女性が増えるよ
 う、女性の起業や事業開発を促す必要
 があります。インターンシップで成果
 を上げている実例も多くあり、新たな
 視点と政策が必要だと考えます。

(裏面につづく)

男女別人口及び世帯数の推移





(表面からつづく)

子育て支援が不可欠!!

これまでのアンケートなどから、子育て家庭の9割は核家族だということも明らかです。これは転入者が多いこともその要因かもしれませんが、従って、子育て家庭の多くは、周りに親せきや友人がいる方ばかりではありません。働きながら子育てする家庭が多いことから、支援環境の充実が求められます。その一つとして、幼児や学童の保育所の充実が喫緊の課題です。

また未就園児を育てる家庭は、周りの交流機会が少ないことから、孤立し易いといわれています。ホームスタートなど民間が取組んでいる支援事業にも公的な支えの拡大が必要です。

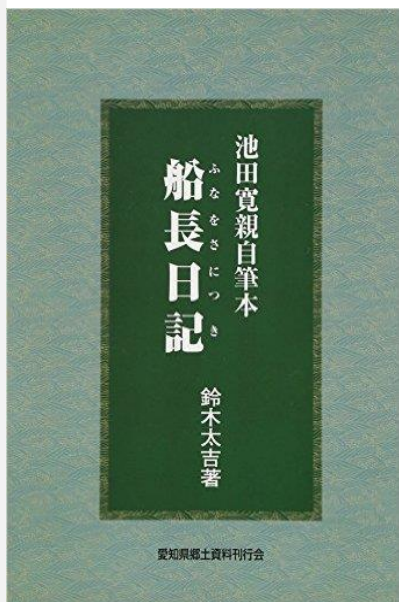
生還200年に向け顕彰する会が勉強会を開催…

「船長日記」を読み解く!

来年2017年は、旧半田村出身の船頭小栗重吉が史上最長の四百八十八日間の漂流から生還して、200年目にあたります。

重吉はこの漂流について、食料のことや仲間を失った様々な事件などを記録していました。この内容を新城藩の重役池田寛親が、重吉を新城に招き「船長日記」として漂流記にまとめています。

「船頭重吉を顕彰する会」は、半田市博物館との共催で自筆本を読む勉強会を下記の日程で開催しています。是非ご参加いただき、重吉の精神力や人間性に触れて頂きたいと思います。



会場:半田市博物館・講師:民俗学者津田豊彦先生ほか

第2回:1月22日(金) 時間:午後2時~
 第3回:2月19日(金) 参加費:無料
 第4回:3月18日(金) 資料代:有償
 第5回:4月22日(金)



3月6日

まちと地域を語るざだん会

3月6日(日)午前10時~11時半/瑞穂記念館

3月6日(日)午後1時半~3時/大矢知コミュニティ

新年度予算・人口減少対策など

半田市も例外でなく人口減少が始まっています。どのような対策が必要かを、皆さんと考えてみたいと思います。お気軽にご参加ください。

お気軽に意見などお聞かせ下さい!

Tel&fax:0569-58-0967

E-mail:y-koide@cac-net.ne.jp